



医療系ベンチャー・トータルサポート事業 MEDISO

医療系ベンチャー振興推進会議 MEDISO資料

01

MEDISOについて

— MEDISOは、厚生労働省による医療系ベンチャー・アカデミア向けの支援事業

医療系ベンチャー・トータルサポート事業 MEDISOは、医療系のベンチャーやアカデミア、起業前の個人等を支援対象として、基礎研究段階から臨床開発、臨床現場での実用、保険適用、海外展開、市場普及まで、各段階における実用化に向けた課題について相談・支援を行う事業。



医療系ベンチャー・ アカデミアに相談支援を提供

医薬品、医療機器、再生医療等製品の実用化を目指す医療系ベンチャー・アカデミアおよび起業前の個人に対して、専門家による相談支援を提供



相談支援以外にも 様々な支援プログラムを提供

MEDISOのコアとなる支援は相談支援だが、その他にも、セミナーやメンタリング、ピッチイベント等の様々なプログラムを提供

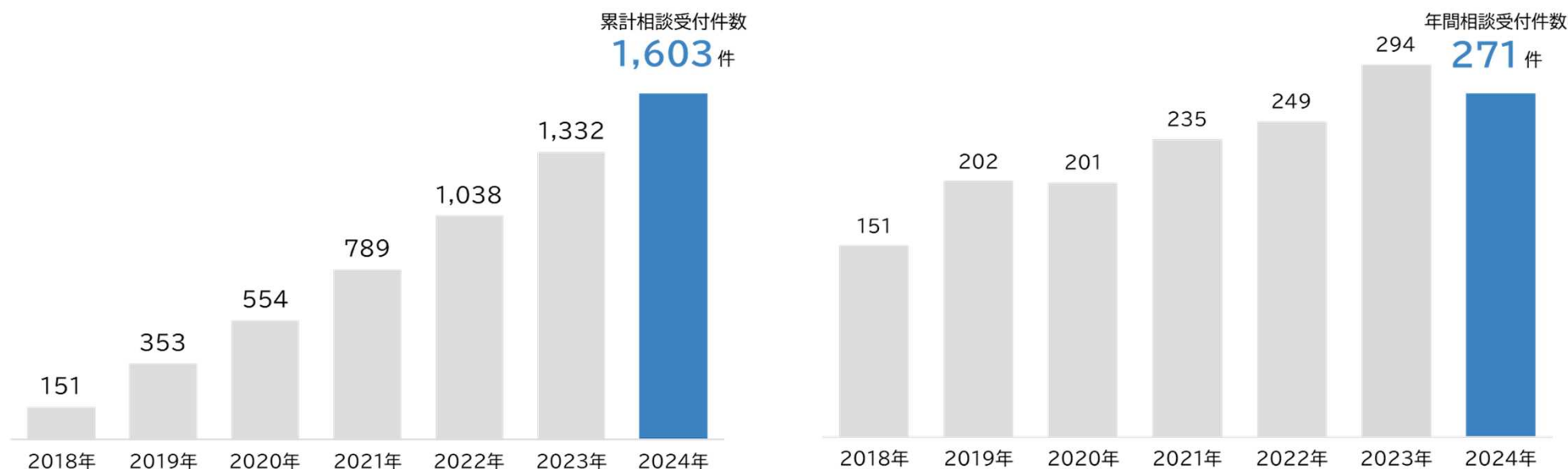


全ての支援プログラムを 無料で提供

MEDISOは厚生労働省による国の支援事業であり、医療系ベンチャー・アカデミアは全ての支援プログラムを無料で活用可能

— MEDISOは、1,600件以上の相談に対応し、医療系ベンチャー・アカデミアが頼る存在に

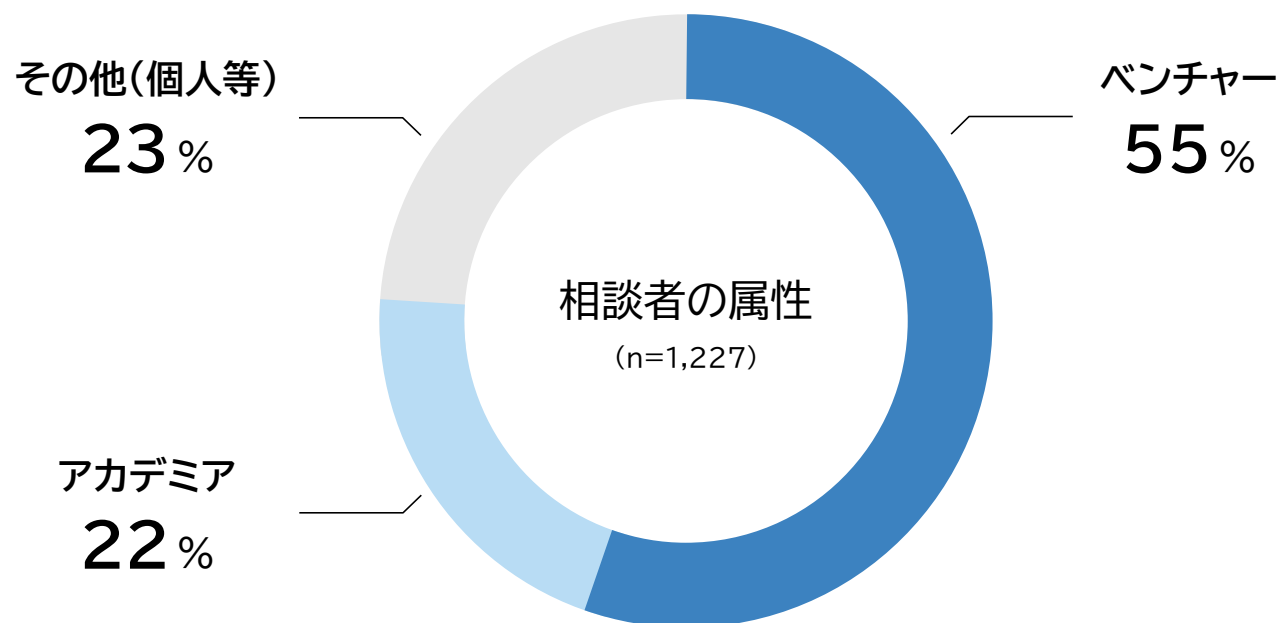
MEDISOは2018年2月に立ち上げ、これまでに累計で1,600件以上の相談を受け付けてきた。相談受付件数は年々増加しており、現在では設立当初の約2倍となる年間300件近くの相談を受け付けており、ほぼ毎日、医療系ベンチャー・アカデミア等からの相談に対応している。



集計期間: 2018年2月5日～2024年12月19日

— 医療系ベンチャー・アカデミアに加え、起業前の個人まで幅広く支援

- MEDISOは医療系ベンチャー・アカデミアからの相談に対応しており、相談者の約半数がベンチャー、約2割がアカデミアである
- また、起業前の個人も支援しており、起業を考えている/悩んでいる段階からMEDISOへの相談が可能(より早期にMEDISOへ相談することを強く推奨)

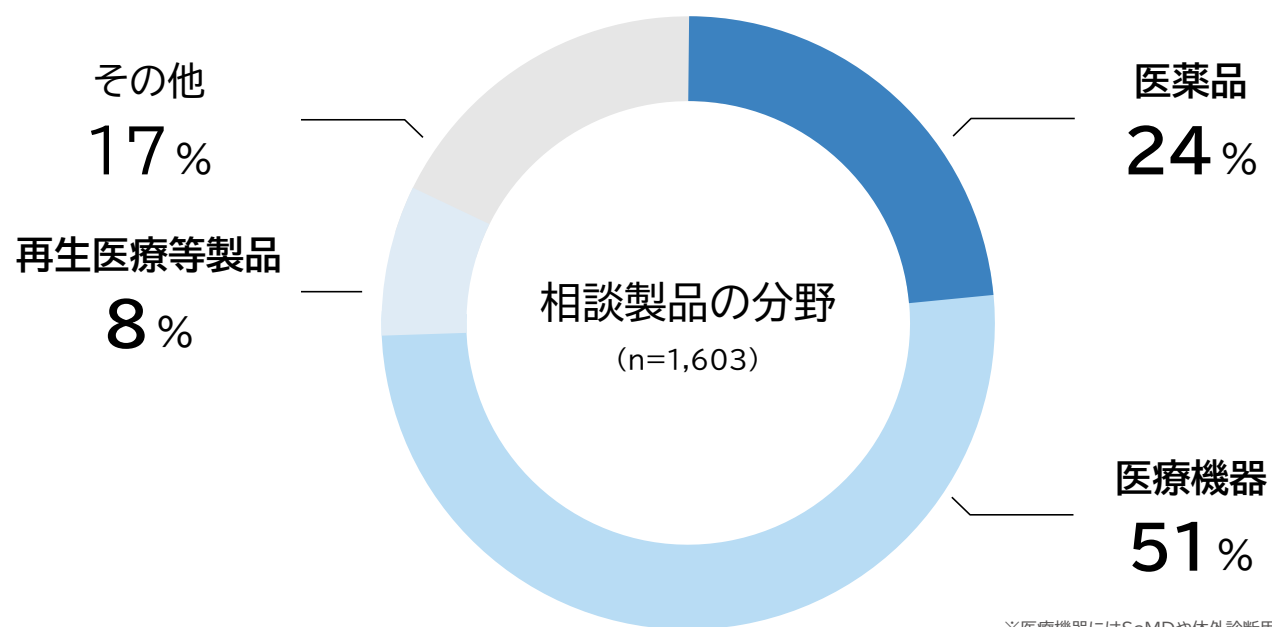


集計期間: 2018年2月5日～2024年12月19日

Copyright (C) MEDISO Medical Innovation Support Office

— 医薬品、医療機器、SaMD、再生医療等製品等の医療分野製品の実用化を支援

- 薬機法の対象となる医薬品・医療機器・再生医療等製品の実用化を支援し、近年開発が活発化しているプログラム医療機器(SaMD)の相談対応も可能
- 特に医療機器の相談が約半数と多く、医薬品が約2割、再生医療等製品が1割を占める



※医療機器にはSaMDや体外診断用医薬品を含む

集計期間: 2018年2月5日～2024年12月19日

Copyright (C) MEDISO Medical Innovation Support Office

— 全国各地の医療系ベンチャー・アカデミアがMEDISOを活用

- MEDISOの相談はオンラインで実施しており、全国どこからでも相談が可能
- 都心部と比較して相談先が必ずしも多くはない地方のベンチャー・アカデミアにとって、いつでも気軽に相談できる存在がMEDISO

〈 地域別の相談受付件数 〉



集計期間:2018年2月5日~2024年12月19日

Copyright (C) MEDISO Medical Innovation Support Office

英語での面談対応により、海外ベンチャーの日本展開も支援

MEDISOでは日本市場を目指す海外の医療系ベンチャーも支援し、海外における革新技術の国内導入も推進している。海外からの相談者に対しては、英語での相談受付および面談対応を提供している。

MEDISOで相談実績のある国 | 13か国

アメリカ



カナダ



イギリス



スイス



ドイツ



デンマーク



イスラエル



オーストラリア



インド



シンガポール



中国



香港



台湾



韓国



海外からの相談受付件数
累計 **48**件

海外からの相談内容の例



日本の法規制について基礎から教えて欲しい

日本の薬価制度について教えて欲しい



日本での臨床試験の進め方を教えて欲しい

日本でのパートナーの探し方を教えて欲しい



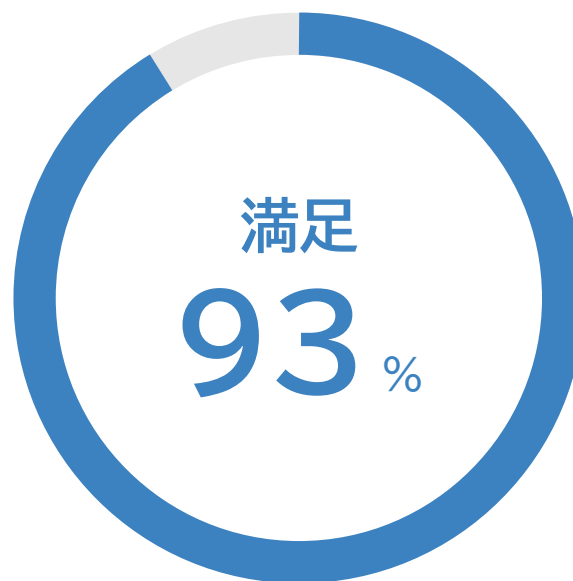
— MEDISOによる相談支援を相談者は高く評価

MEDISOの相談支援を活用した医療系ベンチャー・アカデミアの多くがMEDISOによる支援に満足し、継続的な支援を希望している。実際、初回相談後に再度相談を申し込む相談者は年々増加しており、実用化に至った相談者の多くはMEDISO相談を幾度となく活用。

相談支援全体に対する
総合満足度



サポーターに対する
総合満足度



MEDISOによる
継続的な支援希望



MEDISOでは相談対応以外にも様々な支援プログラムを実施



企業相談

医療系ベンチャー企業やアカデミアの持つ課題を知見ある専門家により解決



出前相談会

全国各地で出張相談会を開催し現地で対面の相談機会を提供



シーズ宝箱

医療系ベンチャー企業・アカデミアと、医療系企業やVC等投資家のマッチング機会提供



ベンチャー企業・アカデミア向けセミナー

ベンチャー企業・アカデミアに対し専門家によるセミナーを提供



人材交流

医療系ベンチャー企業に対し、適切な人材をマッチングさせ、ハンズオン支援



知財戦略策定支援

有望なシーズに対し、実用化を図るための総合的な調査・支援を実施



ジャパン・ヘルスケアベンチャー・サミット

ベンチャー企業と、大企業や支援機関のマッチング機会創出のため展示会を開催



起業プログラム

起業を志す方たちに対する、起業支援プログラム



ベンチャー支援ガイドブック

ベンチャー企業の課題解決の一助となるようガイドブックを提供



VC向け研修会

VCを対象としたセミナーの開催



海外展開支援

欧米への海外展開を目指す医療系ベンチャー・アカデミアを支援



各種調査・とりまとめ

日本のベンチャー企業やその支援機関に関する各種調査を実施、現状を把握

— 全国各地に”MEDISOを試す”機会を提供

- 現地の大学や支援機関等と連携して全国各地で「出前相談会」を開催し、地方の医療系ベンチャー・アカデミアに相談機会を積極的に提供。出前相談会ではセミナーを実施して情報提供を行うことも。

毎年度、6-7地域で出前相談会を開催し、出前をきっかけにMEDISO相談のヘビーユーザーに

開催地	主な連携先	開催年月	開催地	主な連携先	開催年月	開催地	主な連携先	開催年月
鳥取県	とっとりバイオフィロントピア	2022/11	徳島県	徳島大学病院	2023/7	愛知県	名古屋大学医学部附属病院	2024/7
福岡県	自治体	2022/12	鹿児島県	鹿児島大学	2023/8	山梨県	山梨大学病院	2024/8
北海道	北海道大学病院	2023/1	京都府	自治体	2023/9	石川県	金沢大学	2024/10
東京都	東工大 COI-NEXT	2023/1	宮城県	東北大学病院	2023/9	沖縄県	沖縄科学技術大学院大学	2024/11
岡山県	岡山大学病院	2023/2	福岡県	九州大学病院	2023/11	岩手県	東北ライフサイエンス・インストルメンツ・クラスター (TOLIC)	2024/12
大阪府	自治体	2023/2	岡山県	岡山大学病院	2023/12		調整中	
福岡県	九州大学病院	2023/3						

— 相談ニーズに基づいた実践的な知見・ノウハウを提供

- 「MEDISOセミナー」シリーズとして、医療系ベンチャー・アカデミア向けのセミナーを2か月に1回程度開催。2024年12月までに全13回開催し、各回200-300名程度が聴講

テーマに関連するベンチャー・アカデミアも登壇

MEDISOセミナーシリーズ～医療系ベンチャーの壁を超える～

Vol. 06
規制編

医療系ベンチャーが通る道 PMDA相談の進め方

07.12 日本橋ライフサイエンスハブ（オンライン併用）
（水）17:00-19:00

登壇者：吉岡 優作、大槻 孝平、橋 正敏、雲山 明彦

MEDISOセミナーシリーズ～医療系ベンチャーの壁を超える～

Vol. 07
交流編

先輩起業家から学ぶ、 医療系ベンチャー起業の心得

09.08 日本橋ライフサイエンスハブ（オンライン併用）
（金）17:30-19:00

登壇者：木野瀬 友人、青山 祐紀、小野瀬 隆一、川田 裕実、羽藤 青、雲山 明彦

MEDISOセミナーシリーズ～医療系ベンチャーの壁を超える～

Vol. 08
規制編

医療機器ベンチャーが理解すべき 米国上市プロセス

12.07 オンライン開催
（木）11:00-12:15

登壇者：Sherry Davidson & Thomas Liu、熊子 亜代、北山 雅也、宮崎 雅平、上谷 和司、雲山 明彦

MEDISOセミナーシリーズ～医療系ベンチャーの壁を超える～

Vol. 11
交流編

NASDAQ上場のリアル

08.05 日本橋ライフサイエンスハブ（オンライン併用）
（月）17:00-18:15

登壇者：Naoki Kato、村田 智恵子、川上 明彦、雲山 明彦

MEDISOセミナーシリーズ～医療系ベンチャーの壁を超える～

Vol. 12
交流編

MEDISOと考える、 今後の医療系ベンチャーエコシステム

09.06 日本橋ライフサイエンスハブ（現地開催限定）
（金）17:00-18:00

登壇者：井汲 一尋、武智 峰樹、橋 正敏、川上 明彦、雲山 明彦

MEDISOセミナーシリーズ～医療系ベンチャーの壁を超える～

Vol. 13
交流編

資金調達を考える

12.23 日本橋ライフサイエンスハブ（オンライン併用）
（月）17:00-18:30

登壇者：水野 篤志、杉本 宗徳、佐藤 亨、PMD Therapeutics、細田 亮爾、株式会社日本橋生命、川上 明彦、雲山 明彦

02

基礎調査

— 国内スタートアップの実態を調査すると共に、国内外のクラスターの実態を分析

調査内容

国内医療スタートアップ 実態調査

- 国内の医療スタートアップの実態を調査する
 - 事業概要・設立年・従業員数等を調査

海外医療クラスター 実態調査

- 海外の医療スタートアップのクラスターの成功要因を調査する
 - 創薬エコシステムの成功要因を探るため、「サンディエゴ」のエコシステムの成功要因を分析
 - 医療機器エコシステムの成功要因を探るため、「ミネソタ」のエコシステムの成功要因を分析

国内医療クラスター 実態調査

- 国内の医療スタートアップのクラスターの実態を調査する
 - 海外調査を踏まえて、国内医療クラスター5地域前後の実態を調査

03

個別調査・支援

- ・ 有望なシーズに対し、実用化を図るための総合的な調査・支援を実施
- ・ 知財戦略及び出口戦略立案を支援（計10 件:関連調査を実施、結果をフィードバック）

知財戦略に関する調査・支援 （先行文献調査・FTO調査）

出口戦略に関する調査・支援 （市場性調査・実用化調査）

公募 | 医療シーズを有するベンチャー企業およびアカデミアに対して告知。審査委員会による審査を経て10件採択

調査前面談 | 採択したベンチャー企業およびアカデミアの期待・ニーズを的確に把握するための調査前面談を実施

調査の実施

先行文献調査 | 対象の研究・技術シーズに関し、新規性・進歩性を否定しえる先行文献の調査を実施

FTO調査 | 研究・技術シーズが他社の特許権利を侵害する可能性があるか、特許文献調査を実施

調査の実施

市場性調査 | 既存製品、競合技術、既存市場におけるシェア獲得可能性、新規市場創出の可能性に関する調査を実施

実用化調査 | ライセンスアウトまたは売却先となりうる企業等複数社に対するインタビュー調査を実施

調査結果の報告 | 調査結果のフィードバック及び追加リクエストに対するフォローアップの実施

04

人材交流

被支援ベンチャーに対し、支援人材をマッチングさせ、被支援ベンチャーに対して約5か月のハンズオン支援を提供

事業の概要およびMEDISOからの支援内容

マッチングフェーズ

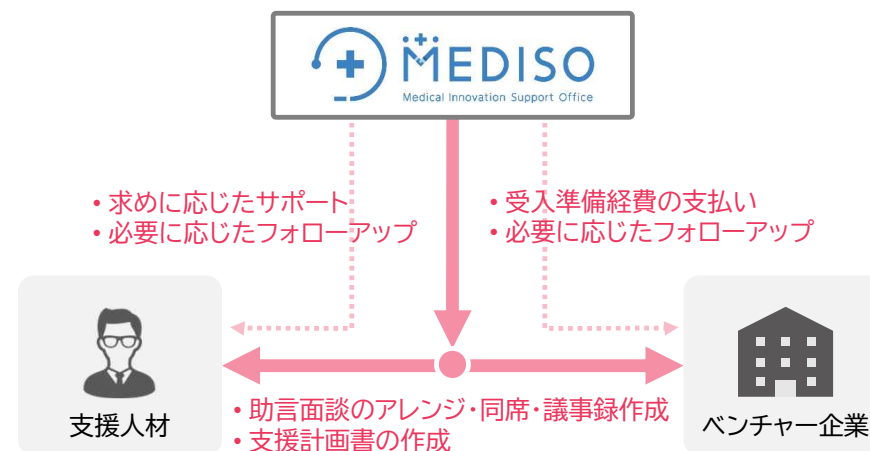
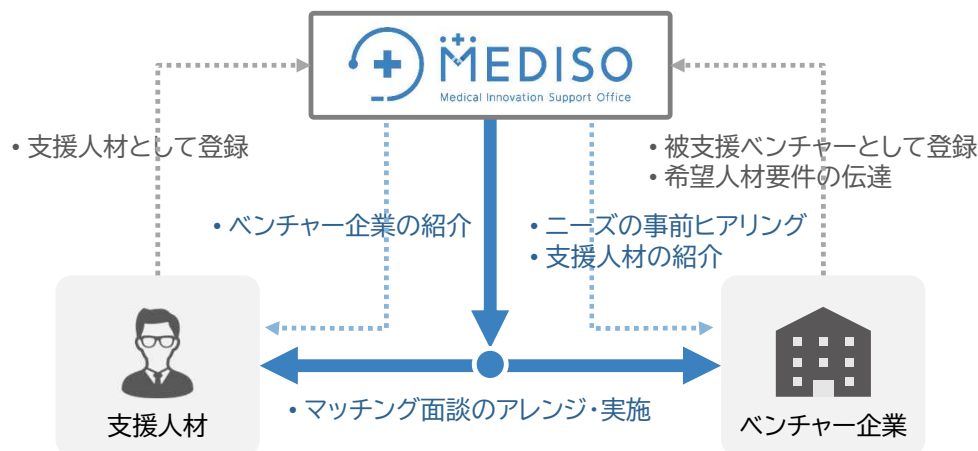
2024年8月
～
2024年9月

- 被支援ベンチャーに対するニーズの事前ヒアリング
- 企業ニーズを踏まえた支援人材の紹介、およびマッチング面談のアレンジ・実施
- マッチングが成立した被支援ベンチャーと支援人材の間で締結する覚書のひな形提供、および覚書締結の支援

ハンズオン支援フェーズ

2024年10月
～
2025年2月

- 被支援ベンチャーに対する支援内容、および支援計画書の策定支援
- 支援開始から終了に至るまでの助言面談への同席、および議事録作成
- 被支援ベンチャーに対する受入準備経費の提供
- 支援人材からの求めに応じたサポート(調査、資料作成等)



05

起業プログラム・JHVS・シンポジウム

— 有望なシーズを有する研究者に対する起業に向けたプログラムを提供

企画・実施内容

対象者	■有望なシーズを有する研究者等のうち、起業を志す者及び起業後3年未満の者(25 名程度) ➢厚労省で過去接触がある者、各支援機関や大学、VC等経由で幅広い対象に周知し、参加者を募集 ➢医薬品、医療機器、再生医療等製品等広い領域からエントリー		
開催概要	■全ての回においてハイブリッド形式で実施。1回2時間。オンラインでも研修受講が可能 ■希望者に個別相談受付を行い、簡易的なメンタリングを実施。専門的な相談内容についてはMEDISOに連携		
	#	(i)スタートアップセミナー	開催時期 講師
	1	TPPの作成 - アンメットメディカルニーズに対する価値提案	2024年11月26日 小柳 智義 先生 香本 慎一郎 氏 鈴木 利衣奈氏 芦田 宏樹氏
	2	TPPの作成 - 技術シーズから研究開発ロードマップ、PoC取得までの事業戦略を描く	2024年12月16日 山本 憲幸 氏 石原 坦先生 徳備 隆太 先生
	3	医療アントレプレナーに必要な知財・特許戦略の基礎	2025年1月8日 DTFA 知財グループ
	4	医療産業における起業のための実務 海外展開を見据えた資金調達含む事業戦略	2025年1月23日 小柳 智義 先生 井上 智子 氏

— 医療系スタートアップの起業に興味を持つ研究者、チーム、または起業後間もないスタートアップ企業を対象に、関係者等に向けて自身の構想を発信できる発表の機会を提供

概要・日時・場所

- ◆ Research Studio参加チームによるピッチ発表、Alumniチームによるピッチ発表および、VCとアカデミアによるディスカッションを実施
- ◆ 2024年10月12日(土)
- ◆ CIC Tokyoにて開催

参加者数

- ◆ 60人



医療系ベンチャーと大手企業、ベンチャーキャピタル、研究機関や医療機関等のマッチングイベントであるJHVS2024において広報・出展者支援・プログラム企画・管理等を実施

日時・場所

- ◆ 2024年10月9日(水)～10月11日(金)
- ◆ パシフィコ横浜にて開催
(BioJapan、再生医療JAPAN、healthTECH JAPANと同時開催)

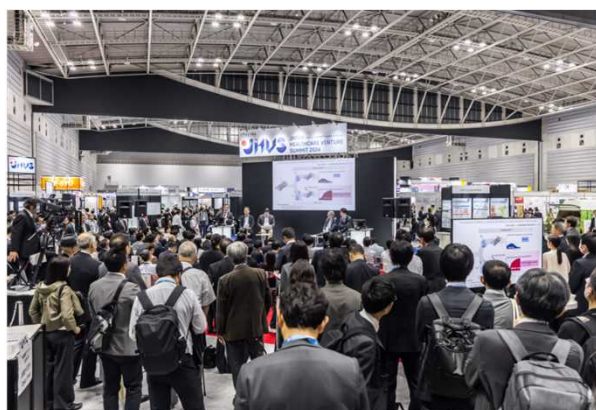
来場者数

- ◆ 3,636人 (前回 4,218人)

出展者数

- ◆ 97団体 (前回 97団体)

開催状況	
日時・場所	■ 2021年10月13日 (水) ～10月15日 (金) ■ パシフィコ横浜にて開催 (BioJapan、再生医療Japan、healthTECH JAPANと同時開催)
来場者数	■ 14,891人 (前回 13,787人)
出展者数	■ 108団体 (前回 112団体)
マッチング成立数	■ 977件 (前回 1,188件)



— JHVS2024出展者によるアピール機会創出のため、90秒ピッチイベントを企画・開催

出展者による90秒ピッチイベント(JHVS SHOWCASE)

- ◆ JHVS2024出展者である会期中のパートナーリング機会創出を目的として、出展者のうち医療系ベンチャーもしくは事業化に結び付けたいシーズを有するアカデミア等が登壇
- ◆ 登壇者は90秒で①事業紹介、②自社の強み、③今後の展開を説明

JHVS SHOWCASE実施日時

- ◆ 2024年10月 9日(水) 10:15-11:00、11:00-12:00
- ◆ 2024年10月10日(木) 11:00-12:00
- ◆ 2024年10月11日(金) 10:00-11:00、11:00-12:00



医療系ベンチャーを表彰する賞イベント「JHVS Venture Award 2024」を実施

賞イベントの企画・実施方法

- ◆ 医療系ベンチャーのチャレンジ精神の高揚や、革新的なイノベーションの創出を促進することを目指し、医療系ベンチャーを表彰する賞イベント選考会「JHVS Venture Award 2024」を開催
- ◆ 医薬品・医療機器・再生医療等製品の実用化を目指すベンチャーまたは創薬技術等のプラットフォームベンチャーを募集し、優れたシーズ有用性、事業計画性、成長性を有する企業6者を書類審査通過者として選定
- ◆ 書類審査通過者に対し、JHVS2024 ステージイベントにてプレゼン審査を実施し、特に優れたシーズ有用性、事業計画性、成長性を有する企業を「JHVS Venture Award」および「審査員特別賞」として表彰

<JHVS Venture Award プレゼン審査登壇者>

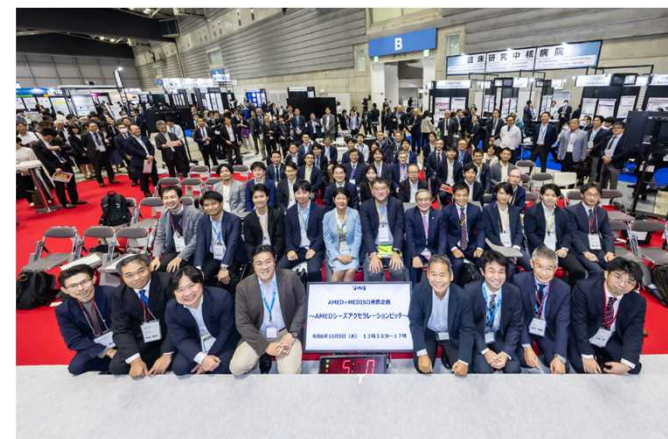
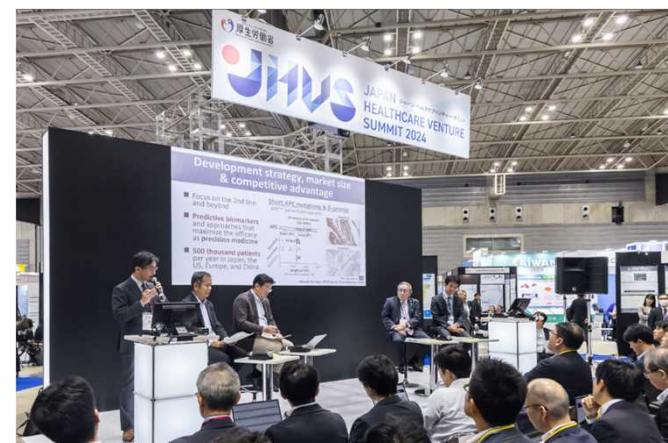
JHVS Venture Award	リンクメッド株式会社
審査員特別賞	株式会社OUI
	セレイドセラピューティクス株式会社
ファイナリスト	株式会社iXgene
	株式会社京都創薬研究所
	リジェネフロ株式会社



AMED×MEDISO連携企画として「AMEDシーズアクセラレーションピッチ」を実施

企画・実施内容

- ◆ 目的：
 - AMEDの光るシーズの導出の支援
 - AMED認定VCやJHVS来場者に向けたピッチを行い、シーズを対外的にPR
 - モデレータ、AMED認定VCから実用化・事業推進に向けた示唆を提示
 - ピッチ終了後の交流会にてピッチ登壇者と認定VC等のネットワーキングを実施
- ◆ 実施内容：
 - AMED 事業に採択されているシーズをピッチ形式で紹介し、AMED 認定 VC 等らの各シーズに対する評価・講評を実施
 - ピッチ終了後には、ネットワーキングを開催
- ◆ 実施日時： 2024年10月9日(水) 13:30-17:00 (16:00- ネットワーキング)



臨床研究中核病院×MEDISO連携企画として「スタートアップエコシステムにおける臨床試験の未来」をテーマにパネルディスカッションを実施

企画・実施内容

- ◆ 目的：臨床研究中核病院の臨床試験における強みや優位性を明確にし、プレゼンスの向上をはかる
- ◆ 実施内容：
新たなスタートアップ支援体制が設置され変革の時期を迎える中で、スタートアップが手掛ける臨床試験での臨床研究中核病院の役割をテーマとしたパネルディスカッションを実施
- ◆ 実施日時：2024年10月10日(木) 15:30-16:30

所属	氏名(敬称略)
国立がん研究センター東病院 医工連携支援室長	富岡 穰
慶應義塾大学病院 臨床研究推進センター 副センター長 トランスレーショナル部門・再生医療等支援部門長 教授	許斐 健二
株式会社Jmees 品質管理部 部長	本間 光将
株式会社レストアビジョン CEO	堅田 侑作
厚生労働省研究開発政策課	酒井 義瑛
有限責任監査法人トーマツ リスクアドバイザー事業本部 ライフサイエンスユニット マネージングディレクター	小夫 聡卓



— 女性起業家が描く未来として、グローバル進出への挑戦とビジョンを議論

企画・実施内容

- ◆ 目的:
 - 女性起業家がまだ少ない医療業界において、女性起業家の活躍促進とグローバル進出促進を議論
- ◆ 登壇者(敬称略):

➢ トレジェムバイオフーマ株式会社	代表取締役社長	喜早 ほのか
➢ 株式会社AutoPhagyGO	代表取締役社長	石堂 美和子
➢ 株式会社aba	代表取締役 CEO	宇井 吉美
- ◆ モデレータ(敬称略):

➢ 株式会社ウィズグループ	代表取締役	奥田 浩美
---------------	-------	-------
- ◆ 討議内容:
 - 女性起業家としての起業の経緯やビジネスの特徴
 - グローバル進出に向けたビジョンとアクション
- ◆ 実施日時: 2024年10月9日(水)12:05-12:50



— 我が国の創薬力強化に関する施策、創薬の展望をテーマに厚生労働省 課長講演を実施

企画・実施内容

- ◆ 登壇者(敬称略)： 厚生労働省 医政局 医薬産業振興・医療情報企画課 課長 水谷 忠由
- ◆ 講演内容： グローバルな創薬エコシステムの構築に向けて、我が国の創薬力強化に関する施策や、創薬に関する未来の展望を紹介
- ◆ 実施日時： 2024年10月10日(木) 13:00-14:00



— 海外からの資金調達の実施に向けて海外VC、国内スタートアップの海外資金調達経験者を交えて実体験に基づくアクションを議論

企画・実施内容

- ◆ 目的：
 - 海外VCからの資金調達に関する意識醸成
- ◆ 登壇者(敬称略)：

➢ ジェイファーマ株式会社	取締役CFO	藤本 裕
➢ ARCH Venture Partners	Senior Advisor	吉川 真由
➢ ARCH Venture Partners	Venture Partner	Joseph Jeong
- ◆ モデレータ(敬称略)：
 - アストラゼネカ株式会社 ダイレクター 劉 雷
- ◆ 討議内容：
 - 海外VCからの調達経験(経緯・コミュニケーション上のポイント・メリット)
 - 海外VCから見た日本の医療スタートアップ(特徴・投資要件)
- ◆ 実施日時： 2024年10月10日(木)14:10-15:20

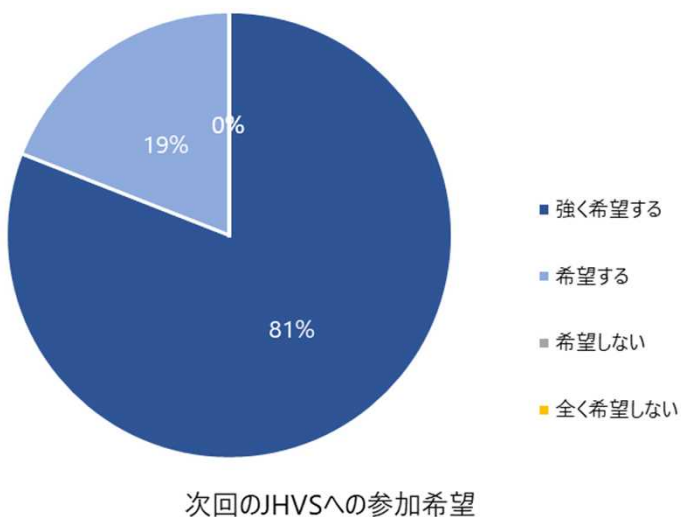


企業とのコネクション強化・ネットワーキングに繋がる成果を創出できた

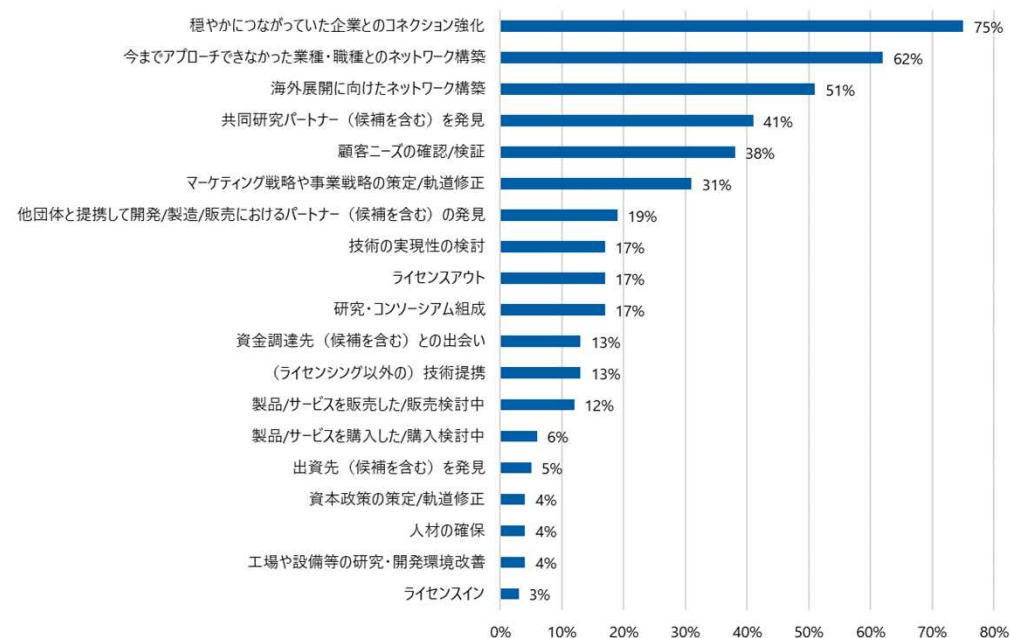
アンケート結果

- ・ ほぼ全ての出展者が次回のJHVSへの出展を希望
- ・ ネットワーキング・コネクション強化につながった企業が多い

次回のJHVSへの出展希望[N=84]



本イベントを通じて得られた成果(複数選択可)[N=84]



— 医療系スタートアップエコシステム関係者が集まるイベント「JHVS Symposium」を企画中

イベントの企画・実施方法

- ◆ 医療系スタートアップエコシステムの関係者が集まり、日本の医療系スタートアップの振興を目指すイベント「JHVS Symposium」を企画

日時: 2025年2月22日(土) 13:00-19:00

場所: ミッドタウン八重洲

- ◆ スタートアップ、海外VCを含むエコシステムプレイヤーが参加予定

- ◆ 予定プログラム

- 医療系スタートアップによるピッチセッション「Japan Startup Showcase: Challenging Global Gateway」を開催。海外VCからのコメントや助言により、成長の機会を提供
- 厚生労働省より、スタートアップエコシステムについて、今後の取組みと展望について発信、特にグローバルを志向するエコシステムの在り方について紹介
- 米国拠点VC登壇によるトークセッションを実施
- ネットワーキング



令和5年度補正予算事業

医療系ベンチャー海外ネットワーク形成促進事業「Direct Flight」
医療系シーズ実用化支援事業「Seeds Booster」

MRI 三菱総合研究所

ヘルスケア事業本部

医療系ベンチャー海外ネットワーク形成促進事業 「Direct Flight」

プログラム概要

Direct Flight

エコシステム構築の第一歩となる成功事例の創出を加速させるため、海外展開を目指すアカデミア・ベンチャーを支援し、グローバルエコシステムを構築することを目指したプログラム。本プログラムでは、異なる特色を持つ世界トップクラスの4つのライフサイエンス都市「ボストン」、「フィラデルフィア」、「サンディエゴ」、「UK(ロンドン)」にて、ローカルエコシステムを熟知するパートナー機関と連携し、4つのプログラムを展開。

開催地	エリアの特徴	海外連携パートナー
ボストン	- NIH からの研究資金獲得額が全米トップクラス - 世界トップ製薬企業やGAFAを含む企業が集積 - 有力なVCが多く所在。	BioLabs: ボストン発祥のライフサイエンスインキュベーター。全米11のインキュベーション拠点を展開。ワンストップで実験ができる優れたシェアラボ、事業開発サポート、強力なネットワークの提供を通じて、バイオベンチャーの様々な課題を解決させ、成長を促進。
フィラデルフィア	- 細胞・遺伝子治療研究の学術機関・研究機関が集積 - 大手企業が集積する細胞・遺伝子治療研究・産業ハブ - 投資家やVCも多く所在	CIC: イノベーションを通じた世界中の課題に対する”解”の導出をミッションとし、起業家やビジネスの成長に資するワークスペースやプログラムの企画・運営、強力なグローバルネットワークを提供。Philadelphiaではオフィスとラボを兼ね備えるフルサービスを提供するセンターを保有。
サンディエゴ	- 医学・工学研究、生物工学等の著名な研究機関が立地 - 世界的バイオ展示会BIO International開催地 - 関連企業も多く集積する米国西海岸におけるライフサイエンスの主要エリア	- Johnson&Johnson: 医薬品や医療機器などの開発・生産・販売を手掛ける世界最大のトータルヘルスケアカンパニー。研究者、起業家、ベンチャー企業に対し、横断したワンストップ・アクセスを提供し、各地域のイノベーション・センター、JLABSインキュベーター、JJDC(戦略的ベンチャーキャピタル部門)および事業開発チームを通じてイノベーターを結びつけ、患者のアンメットニーズに応えるイノベーションを促進。 - Biocom California: サンディエゴ発祥の世界最大級のバイオ関連業界団体。全米5拠点、会員数は1,800以上。スタートアップと投資家等とのネットワーキングを含むイベント開催件数は年間250以上。
UK(ロンドン)	- ロンドンに世界的学術機関が立地 - Medcity 等のバイオ産業クラスターが発展 - 欧州最大のVC 市場、及び研究機関発のインキュベーターやライフサイエンス特化のアクセラレーターが充実	BioSpire: スタートアップの技術およびビジネスポテンシャルを評価し、適切なパートナー連携を構築するサポートを提供。日英(東京、京都、Oxford、Cambridge)に拠点を有し、ライフサイエンスエコシステム、学術、行政にも広いネットワークを保有。

医療系ベンチャー海外ネットワーク形成促進事業「Direct Fight」

進捗状況

- 2024年10月15日に全体キックオフを開催。全プログラムの参加者が対面/オンラインインで参加し、自己紹介ピッチおよびネットワーキングを実施
- キックオフ後、各プログラムにて海外パートナー機関と連携した個別メンタリング、ピッチブラッシュアップを展開
- 2024年12月～2025年1月に、プログラムごとに海外渡航（一部予定）。現地ではVC、製薬企業等の事業会社、治験支援機関、医療機関KOL等、現地エコシステムの多様なプレーヤーとのネットワーキング、及びデモデイを開催。参加者における海外エコシステムとのネットワーク構築促進による事業促進を支援

	オンライン (メンタリング、ピッチ 指導、セミナー等)	オンサイト (デモデイ、ネットワー キング)
Boston プログラム (参加5者・社)	10月中旬～ 11月下旬	12月10日-13日
Philadelphia プログラム (参加5者・社)	10月中旬～ 11月下旬	12月10日-12日
San Diego プログラム (参加5者・社)	10月中旬～ 1月上旬	1月20日-22日
UK プログラム (参加5者・社)	10月中旬～ 11月下旬	12月2日-6日

全体キックオフ & ネットワーキング



医師・KOL

現地スタートアップ

事業会社

VC・投資家

CRO

法律・特許事務所

インキュベータ

その他支援者

医療系シーズ実用化支援事業 「Seeds Booster」

プログラム概要(1/2)

Seeds Booster

創薬シーズを有するアカデミア所属の研究者または起業して間もないベンチャー企業を対象として、アカデミア・ベンチャーが有するシーズの実現化に向けた課題を精査し、TPP(Target Product Profile)を精緻化することで、適切な研究開発計画・事業戦略の立案を目指すプログラム。

国内外の製薬業界の研究者等やVC等と研究開発・事業戦略について自由な意見交換を実施し、実用化方針を明確化するための支援を実施。プログラムを通してTPPを作成・ブラッシュアップするとともに、今後の開発および事業の計画・課題を整理し、開発計画および事業計画の策定を目指す。

プログラムの流れ



プログラム概要(2/2)

3種のミーティングとメンタリングによる伴走支援を通して、国内外の製薬企業関係者・ベンチャーキャピタルを相手にTPPを作成・ブラッシュアップし、今後の開発および事業の計画・課題を整理



R&Dミーティング

- 製薬企業関係者等が複数名参加するミーティング
- 医薬品開発の目線から、基礎研究と創薬研究の間にあるギャップ等の指摘、TPPの内容に対するコメント、事業案への講評・フィードバックを受ける

ビジネスミーティング

- ベンチャーキャピタル等の投資家が参加するミーティング
- 参加者は模擬的ピッチを実施し、投資家の目線から、TPPや事業計画の妥当性、改善点等のコメント、事業計画に対する講評・フィードバックを受ける

米国・1on1ミーティング

- 米国・西海岸エリアに渡航し、シーズの領域に応じて、米国現地の製薬企業社員やVC等とのマッチングを実施
- 参加者は対面形式でミーティングを行い、現地企業等からのフィードバックを受ける

メンタリング

- 専門家による約4か月の伴走的なメンタリングにより、TPPの作成支援、各プログラムへの参加に係る助言支援を実施。最終的に参加者のTPPの精緻化・開発計画・事業計画の完成を目指す。

進捗状況

- 10者採択し、プログラム開始時にTPP(初版)を作成いただき、各採択者にリードメンターを付け、メンタリングを実施
- メンタリングを踏まえブラッシュアップした資料を用いて、R&Dミーティングを実施し、TPP等の精緻化を実施中
- 今後、ビジネスミーティングおよび米国1on1ミーティングを実施し、さらにTPPをブラッシュアップ予定

TPP (Target Product Profile)



- 製品特性
(モダリティ、標的分子)
 - 対象疾患
 - 用法・用量
 - 安全性・毒性
 - 市場性・収益性
- …等

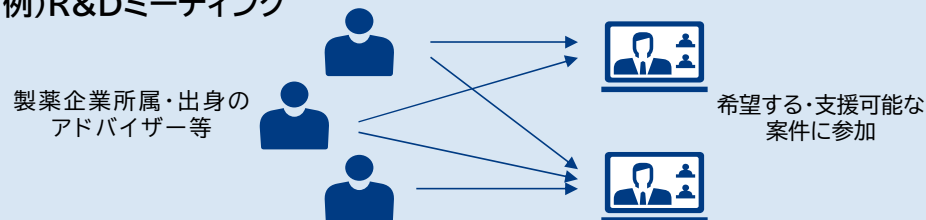
+

各種サポート資料



- TPP作成のサポート資料
 - TPPに記載する前に議論したい点や、課題点
 - 各ミーティングを介して解決した項目
 - マイルストーンとして将来解決すべき項目
- …等

例)R&Dミーティング



- 製薬企業関係者等が複数名参加するチームミーティング
(1チームあたり5~10名程度のアドバイザーが参加)
- 医薬品開発の目線から、基礎研究と創薬研究の間にあるギャップ等の指摘、TPPの内容に対するコメント、事業案への講評・フィードバックを実施

未来を問い続け、変革を先駆ける

MRI 三菱総合研究所